

交換留学帰国報告書

記入月日: 令和2年2月1日

氏名: 吉居 夏美

留学時所属&学年: 国際地域学部

国際地域学科3年

留学先大学	浙江大学
留学先国	中国
留学期間	半年間
留学開始一終了日	2019年9月2日 - 2020年1月19日

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

日本とは違った文化、言語の中で長期間生活し、異文化を自分の肌で感じてみたいと思ったからです。また、交換留学では福井大学との提携校に留学することができるので、安心感もありました。また、長期の留学をしつつ4年間で卒業することができるので、交換留学を希望しました。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

留学先が決定した3月の下旬頃からです。パスポートの期限が帰国から3か月以上なければいけなかったため、私は決まってすぐにパスポートの更新をすところから始めました。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

自分の TOEFL の得点数もあり、応募する時から選択肢は限られていましたが、私は留学を通して何か形としてわかるような成果も得たいと思っていたので、将来役に立つような語学を身に付けようと思いました。そして、英語の他に世界中で話者も多く、将来役に立ちやすい言語が中国語だと考え、中国に行くことを決めました。大学については、いくつかで悩みましたが、最終的には中国の中でも名のある名門校である浙江大学を選びました。福井大学からの中国への交換留学生は私が初めてと聞いていたので、大学や現地情報についてはネットで調べました。他には国際課の方に情報を提供してもらったり、中国人の留学生や友達、大学の先生などに現地の情報を聞いたりしました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

交換留学に行くのに必要な TOEFL については、正確な数はわかりませんが、おそらく 8 回くらいは受けたと思います。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

国際課の方々、中国語の先生、中国人留学生、中国人の友達、中国に行ったことのある友達からのアドバイス、留学サイト。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

履修登録は全て渡航後だったので、渡航前にやったことは特にありません。しかし、そのせいもあり、どの科目が福井大学のどの科目と交換できるのか見当もつかなかったので、本当に交換できるのかどうか不安でした。まだ交換することができるかわからないので、未だに何とも言えません。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

留学生のみが受ける授業を受けていたので、寮や授業では中国人の方とは関りがなく、他の国から来た留学生との交流が主でした。様々な国籍の方が暮らしていて、いつも賑やかな雰囲気でした。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

私が所属していた言語進修生は、メインキャンパスの紫金港校区ではなく、玉泉校区で授業を受けるので、メインキャンパスほど面積は広くありません。しかしそれでも端から端までは徒歩 40~50 分かかるほどの広さです。

Wi-Fi は有料でしか利用できず、半年間で 300 元するそうです。しかし、オリエンテーションの日に携帯会社が寮の前に来て、SIM カードを販売してくれ、半年分 100~150 円で購入できます。それで Wi-Fi を一切使わず帰国まで使用しましたが、追加で課金せずに利用できました。毎日 SNS や動画を見たり、たくさん旅行先で地図アプリなどを使っていた私でさえ十分なギガ数を利用できたので、Wi-Fi を使わなくとも SIM を買えば十分利用できると思いますし、その方が安く済むと思います。また、もしギガ数が足りなくなっても、携帯で簡単にチャージがで

きるので、大丈夫だと思います。

スポーツ施設については、学内に卓球場、体育館、ジム、競技場、サッカー場、テニスコート、バスケットコート等がありました。その他には、スーパー、カフェ、コンビニ、眼鏡屋さん、旅行会社、タピオカ屋さん、パン屋さん、理容店、食堂、荷物受取所などがありました。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

特にありません。

オリエンテーションの時期に見学には行きましたが、文化系から運動系まで様々なサークルがありました。ですが、そのほとんどがメインキャンパスで活動していたので、片道バスで30～40分ほどかかるメインキャンパスまで毎週通うのは大変と思い、どこにも参加はしませんでした。

B. 授業や勉強

1. 留学先で履修した科目

1	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名): Comprehensive(総合) I (Zhao Boyuan)●時間数/週(単位数): 5回/週 (2)●クラスの学生数: 約 24 名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 中国語学習初級者を対象に中国語の文法を主に学習する。 課題は、教科書中の練習問題を解く。 不定期で単語を聞き取って書く、小テストがあった。
2	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名): Spoken(口语) I (Qiu Tingting)●時間数/週(単位数): 2回/週 (2)●クラスの学生数: 約 20 名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 中国語学習初級者を対象に、日常生活で使用する中国語のスピーキングを学習する。 課題は毎授業の復習と、時々短いスピーチを考えてきて、前で発表する。
3	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名): Listening(听力) I (Zhou Jie)●時間数/週(単位数): 2回/週 (2)●クラスの学生数: 約 24 名

	<p>●授業内容・課題(予習・復習の方法等):</p> <p>中国語学習初級者を対象に、教科書の練習問題を通して、中国語のリスニング能力を身に付けていく。</p> <p>課題は特になし。</p> <p>先生は初めから8割中国語で全てを説明するので、何を言ってるかわからないというストレスが初めはあった。</p>
--	---

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

留学期間は、勉強できる時間もたっぷりあり、かつ学びたいことだけを学べる最高の期間だと思うので、授業の復習予習は、教科書を丸覚えする勢いでほぼ毎日怠らずやっていました。また、部屋で勉強するだけでなく、実際に外によく出かけて、その都度話せる中国語はできるだけ話して、わからない言い方はその場で調べて言ってみたり、メモを取って帰ったから調べたり、日常生活で使える言い方などを覚えるようにしていました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

中国語学習初心者向けの授業を取っていたということもあり、初めの方は先生もほとんど英語を使って授業をしてくれましたが、2ヶ月ほどたつと徐々に先生は授業で中国語でしか話さなくなり、聞き取るのにとっても苦労しました。しかし、そのころには私も全く中国語がわからない訳ではなかったので、必死に食らいついて、意味が分からなかった単語はその場で調べたり、友達に確認したり聞いたり、何とか聞き取ってやろうという気持ちで挑みました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

文法を学ぶ Comprehensive の授業は、先生が開設するのを生徒が聞くスタイル。質問がある生徒はその都度手を挙げて先生に質問していたので、質問はしやすい雰囲気でした。会話の Spoken の授業は先生が生徒に質問したり、会話を投げかける対話スタイル。みんなの前でいきなり中国語で話しかけられるので、初めは間違えるのを恐れて緊張しましたが、先生もクラスメイトも優しく、間違えても決して馬鹿にされることもなかったので、失敗を恐れずに毎回とても楽しく授業に出ていました。

Listening の授業は練習問題をひたすら行うスタイル。授業の初めに先生が中国語でフリートークをするのですが、それを聞き取るのも必死。ずっと練習問題をやるので、毎回とても疲れました。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

自分の中国語のレベル別にクラス、授業、先生が勝手に決められるので、正直運です。ちなみに、私の会話の授業の先生だった Tingting 先生は優しく、中国語も聞き取りやすく授業もわかりやすく日本語も話せるので、とてもいい先生です。

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(1)人部屋
寮・アパート名	竺可桢国际教育大楼
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (有料)
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他()
共用設備	洗濯機、乾燥機、キッチン、ミネラルウォーター・お湯を購入できる機械、コーヒーメーカー

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

銀行、スーパー、日本食レストラン、韓国料理店、中国料理店、ホテル、タピオカ屋さん、ウォルマート、カフェ、コーヒーショップ、果物屋さん、メキシコ料理屋さん、その他色々。基本的に何でもあります。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地で銀行口座を開設して、中国では主流であるモバイル決済（支付宝、微信支付）を使っていました。現金は普段持ち歩きませんでした。モバイル決済は中国の銀行で口座を開設しないと使えないので、半年であっても口座を開設してこれを利用することをお勧めします。支払いはほとんどこのモバイル決済で済まされるので、ないととても不便だと思います。半年ビザしか持っていない者にとって口座を開設するのはとても苦労しましたが、根気よく頑張れば必ずつくれます。

私のクレジットカードにはキャッシュ機能がついていなかったため、口座開設後、親に日本から送金してもらいました。しかし、送金手続きはとても面倒だったので、あまりお勧めしません。現金はキャッシュカードで自分で引き出して、中国の口座に入れることをお勧めします。

クレジットカードを使える所も限られていたので、普段の生活ではほとんど使いませんでした。大学の近くにあるウォルマートでは使えるので、そこで日用品を買う

時と、旅行先でホテルの宿泊代を払う時のみ使いました。
 支出の管理は、家計簿アプリで管理していました。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

消耗品は全て目の前にあるスーパーで購入することができる(日本のものもの)ので、あまり持っていなくてもいいと思います。ソフトコンタクトの洗浄液も目の前の眼鏡屋さんに売っていました。

* 持って行って良かったもの

- ・ハンガー、洗濯ばさみ、洗濯ネット(少しだけ持って行って、残りは現地で買いました。)
- ・服や部屋を消臭する消臭スプレー
- ・携帯用裁縫セット
- ・自分のこだわりのスキンケア、ヘアケア、化粧品
- ・大きめの鏡(化粧をするときなどに使いました。)

* 持っていけば良かったもの

- ・洗濯紐
- ・虫よけスプレー、虫刺されの薬(夏場は蚊などの虫がたくさんいます。毎日のように刺されて苦労しました。)
- ・じゃがりこ
- ・置時計
- ・延長コード

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨＝元 RMB)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	約 6 万円(航空券を片道ずつで購入)	食費	約 11 万円
保険代	約 6 万 7 千円	家賃	約 12 万円
予防接種・ビザ代	約 2 万円	教科書代	約 5 千円
交際費(外食等)	約 2 万円	その他	約 20 万円(衣服、雑貨、化粧品、土産、旅行代など)

合計: 約 60 万 2 千円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

特に失礼にあたるようなマナー等はありませんが、基本的に日本で受けるような接客、サービスは受けられないので、そこはそういう文化であると理解するしかありません。笑顔もないし、基本的に接客、態度は雑で、話し方も怒っているように聞こえるかもしれません。しかし、日本と同じように優しい人もいますし、話し方は言語的に声調や抑揚を重視するため怒っているように聞こえるだけです。その分、日本にはない自由で緩い雰囲気も味わえるので、楽しめると思います。

また、水道水は基本的に飲めません。ミネラルウォーターを購入することになります。

レストランや食堂には水も手をふくタオルもないことが多いので、必要ならば自分で飲み物を持っていきます。基本的に飲食店に自分の食べ物や飲み物を持っていくのはオッケーです。少し高めのお店や綺麗なお店には水やお湯があるところもあります。

トイレについてですが、使用した紙をトイレに流すことができません。使用したものは横にある蓋なしのごみ箱に捨てます。また、トイレトイレットペーパーがついていないことがほとんどなので、ティッシュを常に携帯しておいた方がいいです。綺麗なショッピングモールやホテルのトイレにはちゃんとしているので、綺麗なトイレを利用したい場合は、綺麗な施設を探してください。また、4回ほど、手を洗う水が出ないトイレも経験したことがあるので、アルコールティッシュも常に携帯しておくこともお勧めします。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

寮の隣に大学病院があります。一度友達が利用したと言っていました。薬をあまり処方してくれなかった割に初診代や診察料が高かったと言っていたので、あまりお勧めはしません。交換留学で行く方は海外保険に加入されると思うので、加入した海外保険を利用した方が費用的にもサポート的にもいいと思います。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

渡航して1か月後くらいに、気管支炎になり、2回ほど通院しました。医療費については、加入していた海外保険を利用したので、全くかかりませんでした。保険会社のデスクに電話すると、近くの病院の予約から、通訳の方を付けてくれるサポートまで手厚いサポートを受けることができるので、とても便利でした。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

健康診断については、特に検査を受けることもなく、病院に行って、先生と持病や過去の病気について確認してサインをもらうだけでした。

予防接種については受けていません。しかし、同じ大学に留学していた友達はほとんどB型

肝炎の予防接種を受けていたので、心配な方は受けておくといいと思います。
薬は、風邪薬、痛み止め、胃薬、目薬を持っていきました。風邪薬は少し風邪気味の時などにとっても便利でした。胃薬は結局一度も使いませんでした。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

留学前に設定した目標は完全に達成できたとは言えません。私の受けていた授業は全て中国語の言語の授業だったので、日本で第二言語として中国語を学んだ内容との違いを感じることはできました。やはり、現地の教科書で学ぶ方が、日常生活で日々使える中国語を効率よく、わかりやすく、リアルに学ぶことができました。学んだことはすぐ普段の生活にも生かせるので、習ったことから実際に外で使ってみることで、インプットとアウトプットを行うことができ、早く学んだことが身についた感じがしました。

また、留学生活を通して積極性も少し高まったような気がします。留学中は、銀行口座を開設する時も、道がわからない時も、旅行中や普段わからない時がある時も、普段生活する中でも、誰かに聞いて解決したり、自分の意見、要望を自分で発信しないと、自分が生活しづらかったり、わからないままで困ってしまったり、時間を無駄にしてしまうことに繋がるので、わからないことはすぐ誰かに質問する力や、自分でなんとかしなければいけないという意識を高めることができたと思います。今までの私は、わからないことがあっても知らない人に話しかける勇気がでず、困ることが多かったり、人任せにしてしまうことが多かったので、その面では少しですが成長できたかなと思います。また、自分と違うもの、文化、人を理解し、心を広く持つことができるようになったと思います。留学中は、日本ではありえないような出来事や正直嫌だなと思うことも多々ありましたが、それは中国の文化で、理解するしかないと割り切って考えるようにしていました。その繰り返しで、今では留学前よりもすぐイライラしたり文句を言うことが少なくなりました。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

語学の勉強を徹底するには、もっと外へ出てできるだけ話したり、友達ともっと積極的に話したりすれば、効果が見られたらと思うと思います。私も全く外に出ていなかったり、友達と話さなかったわけではありませんが、一人の時間も多く取ってしまったので、短い半年間という期間をもっと有効に使うこともできたなと思いました。

2. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

せっかく中国語の授業を受け、少し話せるようになったので、この力は保ちつつ、かつさらに向上させていきたいと思います。そのためには自主的に勉強しなければいけないので、なんとか学習を持続し続けることが今の目標です。

3. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

中国という国に対して、多くの方が悪いイメージを持っているかもしれません。衛生面が汚い、中国人は順番抜かしをする、中国人はいつも怒っていて声大きい…など。私が中国に留学することを決めた後、周りの人にそのことを伝えても、「なんで中国？」と言われることも正直多く、私自身も悪いイメージを持っていました。しかし、今考えると、それはテレビで見るニュースやネットの情報によって勝手にイメージ付けされていたに過ぎなかったのだと思います。実際、約5か月間生活してみると、もちろんイメージ通りのこともありましたが、イメージとは全く違ったこと、そして何より、今まで知らなかったことの発見の連続でした。買い物や旅行、普段の生活で困った時、何十人もの親切な人達に助けられました。優しく気軽に話してくれるおばちゃんもいました。また、お店での接客も日本のような丁寧なサービスはほぼ受けられません。しかし、その代わりに、日本のように堅苦しい雰囲気や決まりはなく店員さんもお客さんも自由な雰囲気です。店員さんもお昼時になったら目の前でお昼を食べるし、思いっきりタピオカを飲みながら仕事しています(笑)初めは少しびっくりしましたが、慣れてくると、クスと笑ってしまったり、自由すぎる店員さんを観察して楽しんでいました(笑)私はあの自由な雰囲気がとてもいいなと思いました。何事も、実際に自分の肌で感じてみないとわからないのだと感じました。「百聞は一見に如かず」とはまさにこのことだと、この5か月間をもって身を持って体験しました。

また、中国のいいところは何といっても物価の安さとご飯のおいしさです。私は食べることが大好きなので、ご飯がおいしいのは本当に救いでした。しかもそのおいしい料理が日本では考えられないほどの低価格で楽しむことができるのがとても幸せでした。食堂でご飯を食べると、1食10元(約150円)以下で食べることができました。タピオカもお店によりますが、安いもので1杯約150円で飲むことができました。

ご飯だけでなく全てが安いので、ネットショッピングの淘宝というサイトで服や日用品、雑貨、服などを買うと本当に安い価格で買い物を楽しむことができたので、服や雑貨を爆買いしてしまいました。

さらに、中国は国土がとても広いので、国内旅行も楽しむことができます。安いで気軽に色々な所に行けるので、とても充実していました。特に私が留学した杭州市の周りには観光都市がたくさんあるので、気軽に色々な都市を訪れることができました。それも杭州市に留学する良いところの一つだと思います。

ここに話ただけでなく、中国、杭州、浙江大学には他にもたくさん良いところが

あります。しかし、それを見つけることができるかは自分次第だと思います。ぜひ自分なりの視点で、自分なりの考えで、自分の留学生活を楽しんでください。正解も不正解もないと思います。私は、留学前の不安や悪いイメージは今ではなくなり、中国が好きになりました。この不安や悪いイメージが消えたのは、自分の力だけでなく、確実に周りの人たち、友人、そして応援してくださった先生や国際課の方、両親のおかげだと思っています。私の留学は本当にいい人たちに恵まれ、助けられました。ぜひ皆さんも、周りの人への感謝を忘れず、自分の留学を楽しんでください。応援しています！